

アラーム動作に関する設定について

アラーム入力端子のアラーム検出条件について以下ご説明します。

対象カメラ：

DG-SC386、DG-SW396、DG-SC385、DG-SW395
DG-SW355、DG-SF335、DG-SP305
DG-NP502、DG-NW502S

2012年3月現在
・動作を保証するものではありませんので、予めご了承ください。

イメージ	<p>端子状態がON(メイク:短絡)でアラーム検出する場合(a接点)(初期設定)：</p> 	
	<p>端子状態がOFF(オープン:開放)でアラーム検出する場合(b接点)：</p> 	
例	<p>例1)端子1を端子状態がOFFに変化するとアラーム検出するように変更する http://(IPアドレス):(ポート番号)/cgi-bin/terminal_default?input1=nc</p> <p>例2)端子1を端子状態がONに変化するとアラーム検出するように変更する http://(IPアドレス):(ポート番号)/cgi-bin/terminal_default?input1=no</p> <p>例3)端子2を端子状態がOFFに変化するとアラーム検出するように変更する http://(IPアドレス):(ポート番号)/cgi-bin/terminal_default?input2=nc</p> <p>例4)端子3を端子状態がOFFに変化するとアラーム検出するように変更する http://(IPアドレス):(ポート番号)/cgi-bin/terminal_default?input3=nc</p> <p>例5)端子1,2,3を端子状態がOFFに変化するとアラーム検出するように変更する http://(IPアドレス):(ポート番号)/cgi-bin/terminal_default?input1=nc&input2=nc&input3=nc</p> <p>例6)端子1,2,3を端子状態がONに変化するとアラーム検出するように変更する (初期設定) http://(IPアドレス):(ポート番号)/cgi-bin/terminal_default?input1=no&input2=no&input3=no</p>	<p>左記のCGIコマンドにより、端子状態がOFF(オープン：開放)に変化するとアラーム検出するように変更することができます。</p>

△ご注意

- ・アラーム入力の開放→短絡、短絡→開放の判定に於いて、最低限必要な検知時間は最短で100msです。
- ・一度検知すると、検知しない時間が5秒ありますので、次の検知が入るまで最短 5 秒あきます。
- ・あらかじめ、使用する端子の動作設定を「アラーム入力」に設定してください。
- ・上記CGIコマンド入力後、ユーザー名とパスワードの入力画面が表示されることがあります。
この場合は、管理者のユーザー名とパスワードを入力してください。